

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
29-50	高等学校	外国語科	コミュニケーション 英語Ⅲ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
109文英堂	コⅢ 340	New Edition Grove English Communication Ⅲ		

1

編修の基本方針

教育基本法第2条に示された目標を達成するにあたり、以下の点を編修の基本方針とした。

- 男女共通に関係のある話題を選び、また学習者一般の生活環境に合うよう留意した。
- 題材の内容は、異文化、環境問題、社会活動、科学、スポーツ、物語など、広く各部門におよぶように留意し、広いものの見方・考え方の養成に努めた。
- 内容は、特定の宗教または世界観に偏らないように努め、時代の要請にこたえ、言語や文化に対する関心を高め、国際理解を深めるようにした。
- 明るいユーモアを含む教材を加えて、学習を楽しいものにさせ、英語への関心を高めるようにした。
- 身に付けた英語を実践に移すことを視野に、聞く、読む、話す、書く、の4つの領域の言語活動を有機的に関連づけて指導する場を設けた。
- 英語を通してのコミュニケーション能力を養成するために、随所にリスニングやスピーキングの機会を設けた。

2

対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
LESSON 1 ■ Plastic Food Samples	もったいない精神から生まれた日本独自の文化「食品サンプル」について知り、伝統と文化を尊重する態度を養うきっかけとした(第5号)。	6ページ
LESSON 2 ■ Cheese Rolling	チーズと名誉をかけて急坂を駆け下りるイギリスの伝統的なチーズ転がし祭りについて読み、他国の文化など幅広い知識を身に付けるきっかけとした(第1号)。	8ページ

LESSON 3 ■ Chocolate Shortage	世界中で親しまれているチョコレートの原料であるカカオの生産量が減っている現状とその原因を知り、環境の保全に寄与する態度を養うきっかけとした（第4号）。	10ページ
LESSON 4 ■ Bamboo Trains	カンボジアで、廃線を利用して住民たちが走らせる竹の電車について知り、社会生活について考えるきっかけとした（第3号）。	12ページ
LESSON 5 ■ The Animal Lounge	ドイツの空港では動物たちが専門スタッフにより、行き届いたサービスを受けられることを知り、職業に関心を寄せるきっかけとした（第2号）。	14ページ
LESSON 6 ■ Brinicles — Deadly Ice Fingers by Doug Anderson	海中に突然出現する氷の柱がなぜ形成されるのか、またその撮影に成功するまでの経緯を読み、自然環境を保全する大切さを学ぶ場とした（第2号）。	16ページ
LESSON 7 ■ The Hemline Index	1920年代以降の世界の動向とファッションの流行から景気とスカート丈の長さについて論じた文章を読み、幅広い教養を身に付けるきっかけとした（第1号）。	18ページ
LESSON 8 ■ Holiday Weight Gain	休日と体重の関係を明らかにした調査結果から、真理を求める態度を学ぶきっかけとした（第1号）。	20ページ
LESSON 9 ■ Socotra — The Galapagos of the Indian Ocean	インド洋のガラパゴス島と称されるソコトラ島の独特な動植物について知り、自然を大切にすることを養う場とした（第4号）。	22ページ
LESSON 10 ■ NEWater: Singapore's Recycled Water	水を隣国からの輸入に頼るシンガポールで、使用済の水を浄水処理する技術が開発されたことを読み、独創性を培い、将来に役立てるきっかけとした（第2号）。	24ページ
LESSON 11 ■ Bed Nets for African Children	かつて日本で活躍した蚊帳が海を渡り、アフリカの国々でマラリア対策として活用されていることから、日本文化を再認識し、国際社会に貢献する意識を持つよう促した（第5号）。	26ページ
LESSON 12 ■ A Feathery Find in Amber	琥珀の中に閉じ込められた恐竜の化石から恐竜に関する新事実が解明されたことを知ることで、真理を求める態度を養う場とした（第1号）。	28ページ
LESSON 13 ■ Snow Monkeys	温泉につかる姿が世界中で人気を呼ぶサルの様子と地獄谷野猿公苑について読み、我が国と郷土を愛するとともに社会の平和と発展に寄与する態度を養うきっかけとした（第5号）。	38～39ページ

<p>LESSON 14 ■ Spot Fake News</p>	<p>SNSの発展とともに嘘のニュースが出回るようになった現代において、真偽を見極める大切さを知り、自他の敬愛と協力を重んじ、公共の精神に基づき主体的に社会の形成に参画する意識を持つよう促した（第3号）。</p>	<p>42～43ページ</p>
<p>LESSON 15 ■ EcoScraps: A Million-dollar Business Built on Trash</p>	<p>日々排出される生ゴミの有効利用を考えついた大学生がビジネスを立ち上げた話を読み、創造性を培い職業との関連を重視する精神を養うきっかけとした（第2号）。</p>	<p>46～47ページ</p>
<p>LESSON 16 ■ Earth Hour</p>	<p>3月の最終土曜日に電気を消して過ごし、環境について考える世界的なイベントについて知り、環境の保全に寄与する態度を養うきっかけとした（第4号）。</p>	<p>50～51ページ</p>
<p>LESSON 17 ■ The French School Lunch</p>	<p>食事を重んじるフランスでは食育にも力が入れられ、学校ではフルコースの給食が提供されることを知り、幅広い知識を身に付け、健やかな身体を養うことを考えるきっかけとした（第1号）。</p>	<p>54～55ページ</p>
<p>LESSON 18 ■ Sleep Position and Personality</p>	<p>寝るときの姿勢とその人の性格には関連があるとする実験結果について知り、幅広い知識と教養を身に付ける場とした（第2号）。</p>	<p>58～59ページ</p>
<p>LESSON 19 ■ Lost Olympic Sports</p>	<p>オリンピック競技は歴史とともに種目を変えており、かつて行われていた驚きの競技を知ることで、幅広い知識と教養を身に付ける（第1号）。</p>	<p>62～63ページ</p>
<p>LESSON 20 ■ New Energy: Algae to Oil</p>	<p>石油に代わるエネルギーとして開発が進む藻について学び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養う場とした（第4号）。</p>	<p>66～67ページ</p>
<p>LESSON 21 ■ Grandmothers as Solar Engineers</p>	<p>インドのベアフットカレッジが、おばあちゃんたちを太陽光発電のエンジニアに育てる活動について知り、社会の形成に参画し、貢献する態度を養うきっかけとした（第3号）。</p>	<p>70～71ページ</p>
<p>LESSON 22 ■ The Sagrada Familia: a Spiritual Wonder</p>	<p>ガウディの設計による世界的に有名な教会、サグラダファミリアについて知り、他国を尊重し、国際社会の発展に寄与する態度を養う場とした（第5号）。</p>	<p>74～76ページ</p>
<p>LESSON 23 ■ Robot Farming</p>	<p>世界で初めて日本の会社がロボット農場を作った話題から、正義と責任を重んじ、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うきっかけとした（第3号）。</p>	<p>86～89ページ</p>
<p>LESSON 24 ■ The Invisible Gorilla</p>	<p>私たちは目を見たものをすべて認識できているかを問う実験について読み、真理を求める態度を養うきっかけとした（第1号）。</p>	<p>92～95ページ</p>

LESSON 25 ■ The Svalbard Global Seed Vault	世界の食糧危機に備えてノルウェーのスバルバル諸島に整備された世界種子貯蔵庫について知り、環境保全に寄与する態度を養うきっかけとした（第4号）。	98～101ページ
FOR READING ■ A Plate of Peas	ご褒美ほしさに大嫌いなグリーンピースを食べさせた作者はどんな言葉を受けとったのか。物語を読んで道徳心を養う場とした（第1号）。	108～113ページ

3

上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 巻を通じて、英語でコミュニケーションをとる際に役立つよう、生徒にわかりやすい平易な英語を心がけた。
- 海外のみならず、日本の伝統文化を尊重し、自国の良さにも目を向けるよう配慮した。
- 英文を系統立てて読む訓練をするために、UNIT 1にReading Tipsの欄を設け、読解のためのスキルの解説を掲載した。
- さまざまな問題形式に慣れるために、巻を通じて3回のSkill-up Cornerを配した。
- 難易度の高い英文も読めるよう、未知語の意味を予測するための予備知識をVocabulary Builderとして2回設けた。
- 英語の聞きとりに慣れることを目標に、ヒアリングの問題をUNIT 2とUNIT 3の写真に配置した。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
29-50	高等学校	外国語科	コミュニケーション 英語Ⅲ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
109文英堂	コⅢ 340	New Edition Grove English Communication Ⅲ		

1

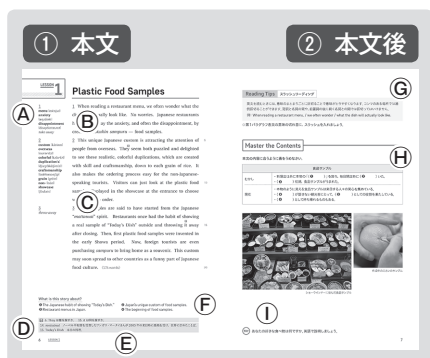
編修上特に意を用いた点や特色

「コミュニケーション英語」という科目名が示すように、コミュニケーションの一つの方法として英語を用いることを目標に以下の点に考慮し、本書の特色とした。

1. 言語材料について

- 言語材料は、広くアメリカで用いられる表現、語法、綴りを中心とした。
- 題材の形式は、説明文、解説文、ブログ、物語形式などを採用した。
- 言語材料の使用に当たっては、指導要領に基づき、コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱの文構造・文法事項を踏まえて用いた。
- 教材の配列に当たっては英文の長さや目的別に、全体をUNIT 1から3に分けた。UNIT 1の本文は150語～200語、UNIT 2は200語～400語、UNIT 3は500語～600語の英文を配し、UNIT 3には別にリーディングに特化したレッスンを設けた。

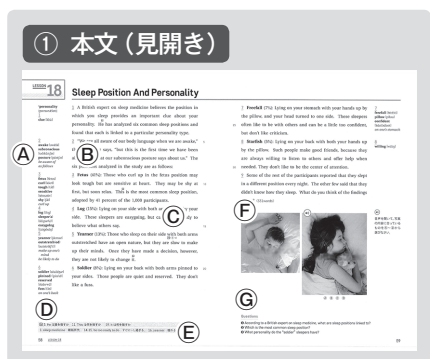
2-1. 教科書の構成 (UNIT 1)



① 本文	
A 傍注	新出語とその発音と、新出イディオム。
B 本文	本文各パラグラフの冒頭に番号をふった。
C Gマーク	本文内の注意すべき文法事項に付したマーク。
D 脚注1段目	itやtheyなどが何を指すかを問う質問。
E 脚注2段目	固有名詞、意味のとりにくい表現、慣用表現など。 初出の固有名詞には意味と発音記号を載せた。
F What is this story about?	本文の概要を問う英問。

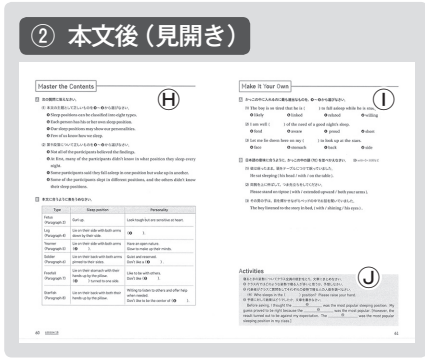
② 本文後	
G Reading Tips	本課で扱う、リーディングに役立つスキルの解説。本文を利用したタスクを付した。
H Master the Contents	本文全体が把握できたかを確認するための設問。
I TRY	題材に関連して、自分のことを英語でひとこと言うタスク。

2-2. 教科書の構成 (UNIT 2, 3)



① 本文	
A傍注, B本文, C Gマーク, D脚注1段目, E2段目はUNIT1と同じ。 ※L22とUNIT 3の本文は2見開き。	
F 写真を用いたリスニング	マークの付いた写真に関するリスニング問題。
G Questions	本文の内容に関する英問英答。





② 本文後	
㊦ Master the Contents	Aは本文を細かいところまで把握できたかどうかの確認, Bは本文全体の内容をまとめて確認。
① Make It Your Own	Aは本文に出現した語法の練習, Bは本文に出現した文法の練習。
㊩ Activities	題材に関連したトピックを用いて, ペアワークやグループワークにより, 書く, 話す, 発表するなどの活動を行う場。

2 対照表

コミュニケーション英語Ⅲの「内容」

(1) 生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して, 次のような言語活動を英語で行う。

- ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて, 情報や考えなどを理解したり, 概要や要点をとらえたりする。
- イ 説明や物語などを読んで, 情報や考えなどを理解したり, 概要や要点をとらえたりする。また, 聞き手に伝わるように音読する。
- ウ 聞いたり読んだりしたこと, 学んだことや経験したことに基づき, 情報や考えなどについて, 話し合ったり意見の交換をしたりする。
- エ 聞いたり読んだりしたこと, 学んだことや経験したことに基づき, 情報や考えなどについて, 簡潔に書く。

図書構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
LESSON 1 ■ Plastic Food Samples	・昭和初期から日本の文化として受け継がれる食品サンプルについて読み, 理解する。(ア)(イ)	6~7ページ	2
LESSON 2 ■ Cheese Rolling	・チーズ転がし祭りに関する情報を読みとり, 理解する。(ア)(イ)	8~9ページ	2
LESSON 3 ■ Chocolate Shortage	・チョコレートの元となるカカオが世界的に不足している現状を読みとり, 理解する。(ア)(イ)	10~11ページ	2
LESSON 4 ■ Bamboo Trains	・バンブートレインに関する情報を読みとり, 理解する。(ア)(イ)	12~13ページ	2
LESSON 5 ■ The Animal Lounge	・空港に整備された動物ラウンジの設備と役割について理解する。(ア)(イ)	14~15ページ	2
LESSON 6 ■ Brinicles – Deadly Ice Fingers	・氷の柱ができるまでと, 撮影に成功するまでの経緯を読み, 理解する。(ア)(イ)	16~17ページ	2
LESSON 7 ■ The Hemline Index	・スカート丈と経済状況の関連についての情報を読みとり, 理解する。(ア)(イ)	18~19ページ	2
LESSON 8 ■ Holiday Weight Gain	・祝日における体重増加についての分析を読み, 理解する。(ア)(イ)	20~21ページ	2
LESSON 9 ■ Socotra – The Galapagos of the Indian Ocean	・ソコトラ島がインド洋のガラパゴスと呼ばれる理由を読みとり, 理解する。(ア)(イ)	22~23ページ	2
LESSON 10 ■ NEWater: Singapore's Recycled Water	・シンガポールの水事情と技術の開発に関する情報を読みとり, 理解する。(ア)(イ)	24~25ページ	2
LESSON 11 ■ Bed Nets for African Children	・アフリカで活用される蚊帳について読み, 理解する。(ア)(イ)	26~27ページ	2
LESSON 12 ■ A Feathery Find in Amber	・琥珀の中に閉じ込められた恐竜の化石から明かされる恐竜に関する新事実について読み, 理解する。(ア)(イ)	28~29ページ	2
LESSON 13 ■ Snow Monkeys	・インターネットを通じて世界的に人気の温泉につかる猿と, 野猿公苑ができるまでの経緯を読み, 理解する。(ア)(イ) ・飼育されている動物と野生動物について考え, 意見を交換する。(ウ)	38~41ページ	5

LESSON 14 ■ Spot Fake News	<ul style="list-style-type: none"> SNSが人気となり、真実ではない情報もウェブ上に出回るようになってきていることを読み、気を付けるべき点について理解する。(ア)(イ) SNS上で体験したことを話す。(ウ)(エ) 	42～45ページ	5	
LESSON 15 ■ EcoScraps: A Million-dollar Business Built on Trash	<ul style="list-style-type: none"> エコスクラップス社が設立された経緯とその販売手順を理解する。(ア)(イ) もったいないと思うものについて文章にまとめて発表する。(ウ)(エ) 	46～45ページ	5	
LESSON 16 ■ Earth Hour	<ul style="list-style-type: none"> アースアワーがどんなイベントで、何を目的にしているかを理解する。(ア)(イ) 環境について考え、英文を書く。(エ) 	50～53ページ	5	
LESSON 17 ■ The French School Lunch	<ul style="list-style-type: none"> フランスの学校の給食について読み、理解する。(ア)(イ) 給食と弁当について話し合い、意見をまとめる。(ウ) 	54～57ページ	5	
LESSON 18 ■ Sleep Position and Personality	<ul style="list-style-type: none"> 寝るときの6つの姿勢と性格の傾向を理解する。(ア)(イ) クラス内で統計を取り、結果をまとめる。(ウ) 	58～61ページ	5	
LESSON 19 ■ Lost Olympic Sports	<ul style="list-style-type: none"> オリンピック競技から除外された3つのスポーツとその理由を理解する。(ア)(イ) オリンピックで取り上げたらよいと思う競技についてプレゼン原稿を作る。(エ) 	62～65ページ	5	
LESSON 20 ■ New Energy: Algae to Oil	<ul style="list-style-type: none"> 石油に変わるエネルギーとして研究が進んでいる藻の利点や課題、将来の展望について理解する。(ア)(イ) 石油で作られる製品についての情報を交換する。(ウ) 	66～69ページ	5	
LESSON 21 ■ Grandmothers as Solar Engineers	<ul style="list-style-type: none"> ベアフットカレッジの精神とその活動について読み、理解する。(ア)(イ) 太陽光発電でできることについて話し合い、企画書を作成する。(ウ)(エ) 	70～73ページ	5	
LESSON 22 ■ The Sagrada Familia: a Spiritual Wonder	<ul style="list-style-type: none"> 世界的に有名な建築中の教会サグラダファミリアと、その建築家のガウディの思想について読み、理解する。(ア)(イ) 自分の町建物や文化についてプレゼン原稿を書いて発表する。(ウ)(エ) 	74～79ページ	6	
LESSON 23 ■ Robot Farming	<ul style="list-style-type: none"> 世界で初めて日本に作られたロボット農場の運営や利点について読み、理解する。 人が作ったものとロボットが作ったものについて考え、意見を交換してクラスで発表する。(ウ) 	86～91ページ	6	
LESSON 24 ■ The Invisible Gorilla	<ul style="list-style-type: none"> ゴリラに関する実験について読み、理解する。(ア)(イ) 最近経験したことについて書いて、発表する。(ウ)(エ) 	92～97ページ	6	
LESSON 25 ■ The Svalbard Global Seed Vault	<ul style="list-style-type: none"> スバルバル世界種子貯蔵庫ができた経緯とその役割について読み、理解する。(ア)(イ) 遺伝子組み換え食品について話し合う。(ウ) グリーンピース嫌いの主人公の幼い頃の経験について読み、理解する。(ア)(イ) 	98～103ページ	6	
FOR READING ■ A Plate of Peas	<ul style="list-style-type: none"> グリーンピース嫌いの主人公の幼い頃の経験について読み、理解する。(ア)(イ) 	108～114ページ	5	
			計	98

(2) (1)に示す言語活動を効果的に行うために、次のような事項について指導するよう配慮するものとする。

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数	
FOR READING 本文	ア 英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。	108～113ページ	4	
Skill-up Corner ①	イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。	30～33ページ	4	
Skill-up Corner ②		80～83ページ	4	
Skill-up Corner ③		104～107ページ	4	
LESSON 2, Reading Tips Vocabulary Builder 1, 2	ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。	34ページ, 84ページ	各1	
UNIT 2, 3各課 Activities Further Activities 1～5	エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。	115～119ページ	各2	
			計	28

「英語に関する各科目に共通する内容等」

1 言語活動を行うにあたって、[言語の使用場面の例] 及び [言語の働きの例] を以下の箇所に取り上げた。

[言語の使用場面の例]

- a 特有の表現がよく使われる場面 b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面
c 多様な手段を通じて情報などを得る場面

[言語の働きの例]

- a コミュニケーションを円滑にする b 気持ちを伝える c 情報を伝える
d 考えや意図を伝える e 相手の行動を促す

図書の構成・内容	学習指導要領の内容		該当箇所
	言語の使用場面	言語の働き	
Skill-up Corner ① [プログラム]	c (広告)	c (描写する) d (申し出る) e (質問する)	30 ページ
[会話]	b (学校)	a (話題の発展) b (心配する) c (説明する) d (推論する) e (助言する)	31 ページ
[グラフ(1)]	c (新聞)	c (説明する) d (推論する)	32 ページ
[メニュー]	a (食事)	d (仮定する) e (質問する)	33 ページ
LESSON 13 Activities	b (学校)	a (相づちを打つ) c (理由を述べる) d (主張する)	41 ページ
LESSON 14 Activities	c (情報)	a (相づちを打つ) b (感謝する) c (描写する) d (主張する)	45 ページ
LESSON 15 Activities	b (学校)	b (望む) c (理由を述べる) d (主張する)	49 ページ
LESSON 16 Activities	b (地域)	c (説明する) d (主張する)	53 ページ
LESSON 17 Activities	b (学校)	a (話題を変える) c (理由を述べる) d (主張する)	57 ページ
LESSON 18 Activities	b (学校)	b (驚く) c (報告する) d (推論する)	61 ページ
LESSON 19 Activities	b (学校)	a (話題を発展させる) c (理由を述べる) d (主張する)	65 ページ
LESSON 20 Activities	c (情報)	a (相づちを打つ) e (助言する)	69 ページ
LESSON 21 Activities	b (地域)	a (相づちを打つ) c (説明する) d (賛成する) e (助言する)	73 ページ
LESSON 22 Activities	b (地域)	b (望む) c (理由を述べる) d (主張する)	79 ページ
Skill-up Corner ② [表]	c (雑誌)	c (要約する) d (主張する)	80 ページ
[時刻表]	c (雑誌)	c (要約する) d (主張する)	81 ページ
	a (旅行)	c (説明する) d (主張する) e (質問する)	82 ページ
	a (旅行)	c (説明する) d (主張する) e (質問する)	83 ページ
LESSON 23 Activities	b (学校)	a (相づちを打つ) b (褒める) c (理由を述べる) d (主張する)	91 ページ
LESSON 24 Activities	b (学校)	b (驚く) c (描写する)	97 ページ
LESSON 25 Activities	b (学校)	a (繰り返す) c (理由を述べる) d (主張する) e (注意を引く)	103 ページ
Skill-up Corner ③ [グラフ(2)]	b (学校)	d (主張する) e (質問する)	104 ページ
	b (学校)	d (主張する) e (質問する)	105 ページ
[地図]	b (家庭)	b (望む) c (説明する) d (仮定する) e (誘う)	106 ページ
	b (地域)	b (望む) c (説明する) d (仮定する) e (誘う)	107 ページ
Further Activities 1	c (情報)	a (相づちを打つ) c (説明する) d (主張する)	115 ページ
Further Activities 2	c (情報)	c (理由を述べる) d (主張する)	116 ページ
Further Activities 3	b (学校)	c (描写する) d (仮定する)	117 ページ
Further Activities 4	b (学校)	a (話題を発展させる) b (望む) c (説明する) d (仮定する)	118 ページ
Further Activities 5	b (学校)	b (褒める) c (説明する) d (描写する)	119 ページ

2 言語活動を行うに当たって、示された言語材料を以下の箇所に取り上げた。

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所
巻を通じて684語の新語 (巻末 Word List B, C)	ア 語、連語及び慣用表現 (ア) 語 c 「コミュニケーション英語Ⅲ」にあつては、 b に示す語に700語程度の新語を加えた語	138～143 ページ
各レッスンの本文の傍注に示し、巻末のリスト (IDIOM LIST) にまとめ、例文 (IDIOM SENTENCES) を付した。その他、UNIT 2, 3の Make It Your Own Aで取り上げた。	(イ) 連語及び慣用表現のうち、運用度の高いもの	132, 133～136 ページ 41, 45, 49, 53, 57, 61, 65, 69, 73, 79, 91, 97, 103 ページ

LESSON 4 S+V+C(=分詞)	イ 文構造のうち、運用度の高いもの	12, 35 ページ
LESSON 6 S+V+O+C(=分詞)		16, 35 ページ
LESSON 10 S+V+O+Cの受け身		24, 36 ページ
LESSON 12 S+V+O(=that節), S+V+O+C(=分詞)		28 ページ
LESSON 13 It + seem など + that で始まる節		39, 41 ページ
LESSON 16 S+V+O+C(=分詞)		50 ページ
文法のまとめ5		126 ページ
文法のまとめ6	127 ページ	
LESSON 1	ウ 文法事項 (ア) 不定詞の用法	6, 35 ページ
LESSON 20		67, 69 ページ
文法のまとめ4	124~125 ページ	
LESSON 5	(イ) 関係代名詞の用法	14, 35 ページ
LESSON 19		62, 65 ページ
LESSON 21		70, 73 ページ
LESSON 25		98, 103 ページ
文法のまとめ7		128~129 ページ
LESSON 7	(ウ) 関係副詞の用法	18, 36 ページ
LESSON 25		98, 103 ページ
文法のまとめ7		128~129 ページ
LESSON 2	(エ) 助動詞の用法	8, 35 ページ
文法のまとめ3		122~123 ページ
文法のまとめ4	(オ) 代名詞のうち、it が名詞用法の句及び節を指すもの	124~125 ページ
LESSON 11	(カ) 動詞の時制など	26, 36 ページ
LESSON 14		42, 45 ページ
文法のまとめ2		121 ページ
LESSON 22	(キ) 仮定法	74, 79 ページ
文法のまとめ9		131 ページ
LESSON 9	(ク) 分詞構文	22, 36 ページ
LESSON 13		38 ページ
LESSON 18		58, 61 ページ
文法のまとめ5		126 ページ

3 2に示す言語材料を用いるに当たっては、次の事項について以下の箇所で配慮を加えた。

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所
標準的なアメリカ英語によっているが、海外からの観光客に人気のある地獄谷の野生サル (LESSON 13) や今後が期待される日本の技術 (LESSON 11, LESSON 20, LESSON 23) を紹介することで英語が国際的なコミュニケーションの場で活用されていることを表現した。また、英語を公用語とするイギリス (LESSON 2) やシンガポール (LESSON 10)、インド (LESSON 21) の話題も取り上げた。	ア 現代の標準的な英語によること。ただし、様々な英語が国際的に広くコミュニケーションの手段として使われている実態にも配慮すること。	38~39 ページ 26 ページ 66~67 ページ 86~89 ページ 8 ページ 24 ページ 70~71 ページ
文法の扱いは本文の標準的な英語に出てくる項目に止め (本文内 G マークで表示)、出現したものに関しては巻末の「文法のまとめ」で補足的な解説を加えた。	イ 文法については、コミュニケーションを支えるものであることを踏まえ、言語活動と効果的に関連付けて指導すること。	120~131 ページ
文法解説をする巻末の「文法のまとめ」においては文法的な用語をできるだけ用いず、簡潔な説明にとどめた。また、例文を挙げる際には日常生活で使うであろう状況を考慮し、身近な生活ですぐに使えるよう覚えやすい短めのものを作成した。	ウ コミュニケーションを行うために必要となる語句や文構造、文法事項などの取扱いについては、用語や用法の区別などの指導が中心とならないよう配慮し、実際に活用できるよう指導すること。	120~131 ページ

4 生徒が英語に触れる機会を充実するために、以下の配慮を加えた。

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所
・巻を通じて、英語でコミュニケーションをとる際に役立つよう、より実践的な生きた英語に近い表現を生かした。 ・各部のタイトル Master the Contents, Put It All Together などは、タイトルがそのまま指示文を兼ねるよう工夫した。	4 英語に関する各科目については、その特質にかんがみ、生徒が英語に触れる機会を充実するとともに、授業を実際のコミュニケーションの場面とするため、授業は英語で行うことを基本とする。その際、生徒の理解の程度に応じた英語を用いるよう十分配慮するものとする。	全般 全般